

## 事業の背景・目的

現在、熊本県外2県に限りのみに生育が確認されている特定外来生物スパルティナ属の早期防除を実施することで、河口・干潟本来の生態系を保全する。

## 事業の内容

### ① 外来生物防除対策事業（新規発生分）

新たに生育が確認された玉名市唐人川において、防草シートによる防除を実施し、繁殖を抑制した。

#### 【唐人川】

施工期間：R4.11.30～R5.3.13

防除方法：防草シート設置

防除面積：327 m<sup>2</sup>



### ②-1 防除効果試験事業

宇城市大野川の防草シートを被覆した群落において、被覆後の経過年数、群落内での位置等によるスパルティナ属の枯死状況の差異を試験した。

#### 【大野川川】

施工期間：R4.11.30～R5.3.13

作業内容：枯死状況モニタリング

※過去3年の防除実施箇所において、シート被覆下のスパルティナ属根茎を採取し、顕微鏡下で状態を検定

### ②-2 防除効果試験事業

熊本市坪井川、宇城市八枚戸川、砂川の過年度防除実施箇所を監視した結果、シート端部や破損部等からの発生が確認されたため防草シートで再度被覆した。

#### 【八枚戸川、砂川、坪井川】

施工期間：R4.11.30～R5.3.13

作業内容：防草シート設置

防除面積：八枚戸川249 m<sup>2</sup>、砂川44 m<sup>2</sup>、坪井川47 m<sup>2</sup>

## 得られた成果

新規発生箇所（唐人川）で迅速に防除を実施し、繁殖を未然に防いだ。また、八枚戸川をはじめとした過年度防除実施箇所では、再伸長した個体を防除し、再拡大を抑止した一方で、枯死状況試験では、被覆後3年経過したにもかかわらずスパルティナ属の生存が確認された。今後は、再発防止のための監視と枯死状況のモニタリング並びに枯死に至るまでの防草シートの維持及び枯死確認後の防草シートの撤去が課題となる。